

館林都市計画区域区分の変更（群馬県決定）

館林都市計画区域区分を次のように変更する。

1. 市街化区域及び市街化調整区域の区分

「計画図表示のとおり」

2. 人口フレーム

人口は、広域都市計画圏の人口フレームによる

年 次		平成 2 7 年	令和 7 年
		(基準年)	(基準年の 10 年後)
区 分	都 市 計 画 区 域 内 人 口	476.8 千人	おおむね 451.0 千人
	市 街 化 区 域 内 人 口	334.3 千人	※ 1 おおむね 317.8 千人
	配 分 す る 人 口	—	おおむね 319.2 千人
	保 留 す る 人 口	—	—
	(特定保留)	—	—
	(一般保留)	—	—

※ 1 令和 7 年における市街化区域内人口については、広域都市計画圏における保留人口は想定されていない。

## 理 由 書

平成27年国勢調査及び都市計画基礎調査の成果に基づき、別に定める都市計画区域の整備、開発及び保全の方針において、令和7年を目標年次とし、都市計画の目標、区域区分の決定の有無及び区域区分を定める際の方針並びに主要な都市計画の決定の方針を改定することに伴い、区域区分を定める都市計画区域における将来の人口を適切に見直すもの。

また、別添計画図表示のとおり、既に市街地を形成する区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域で、開発事業の実施が確実となった次の地区を市街化区域に編入するもの。

## 記

1. 明和町役場庁舎周辺地区（既成市街地）：面積約 8.9ha
2. 明和東部工業団地地区：面積約 44.5ha
3. 明和矢島地区：面積約 12.5ha
4. 千代田中森地区：面積約 18.9ha
5. 邑楽中央地区（既成市街地）：面積約 18.3ha

(参考)

館林都市計画区域区分の変更 新旧対照表

館林都市計画区域区分を次のように変更する。

1. 市街化区域及び市街化調整区域の区分

「計画図表示のとおり」

2. 人口フレーム

人口は、広域都市計画圏の人口フレームによる

年次 区分	新		旧	
	平成27年 (基準年)	令和7年 (基準年の10年後)	平成22年 (基準年)	令和2年 (基準年の10年後)
都市計画区域内人口	476.8千人	おおむね 451.0千人	483.2千人	おおむね 459.5千人
市街化区域内人口	334.3千人	※1 おおむね 317.8千人	341.9千人	※1 おおむね 324.1千人
配分する人口	—	おおむね 319.2千人	—	おおむね 325.8千人
保留する人口	—	—	—	—
(特定保留)	—	—	—	—
(一般保留)	—	—	—	—

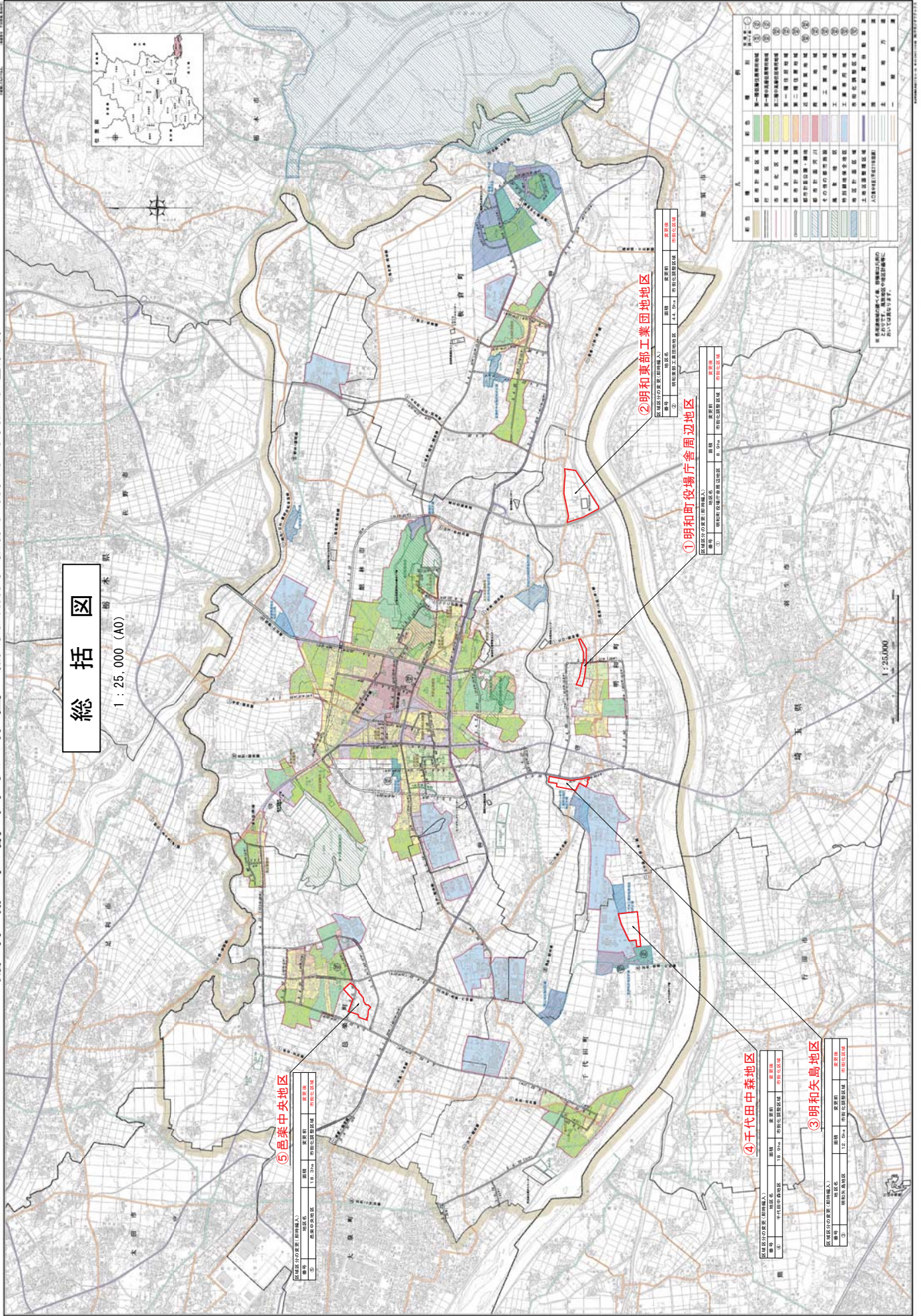
※1 令和7年及び令和2年市街化区域内人口については、広域都市計画圏における保留人口は想定されていない。



# 館林都市計画区域図 (群馬県館林市・板倉町・明和町・千代田町・邑楽町)

## 総括図

1 : 25,000 (A0)





# 計画図

凡例

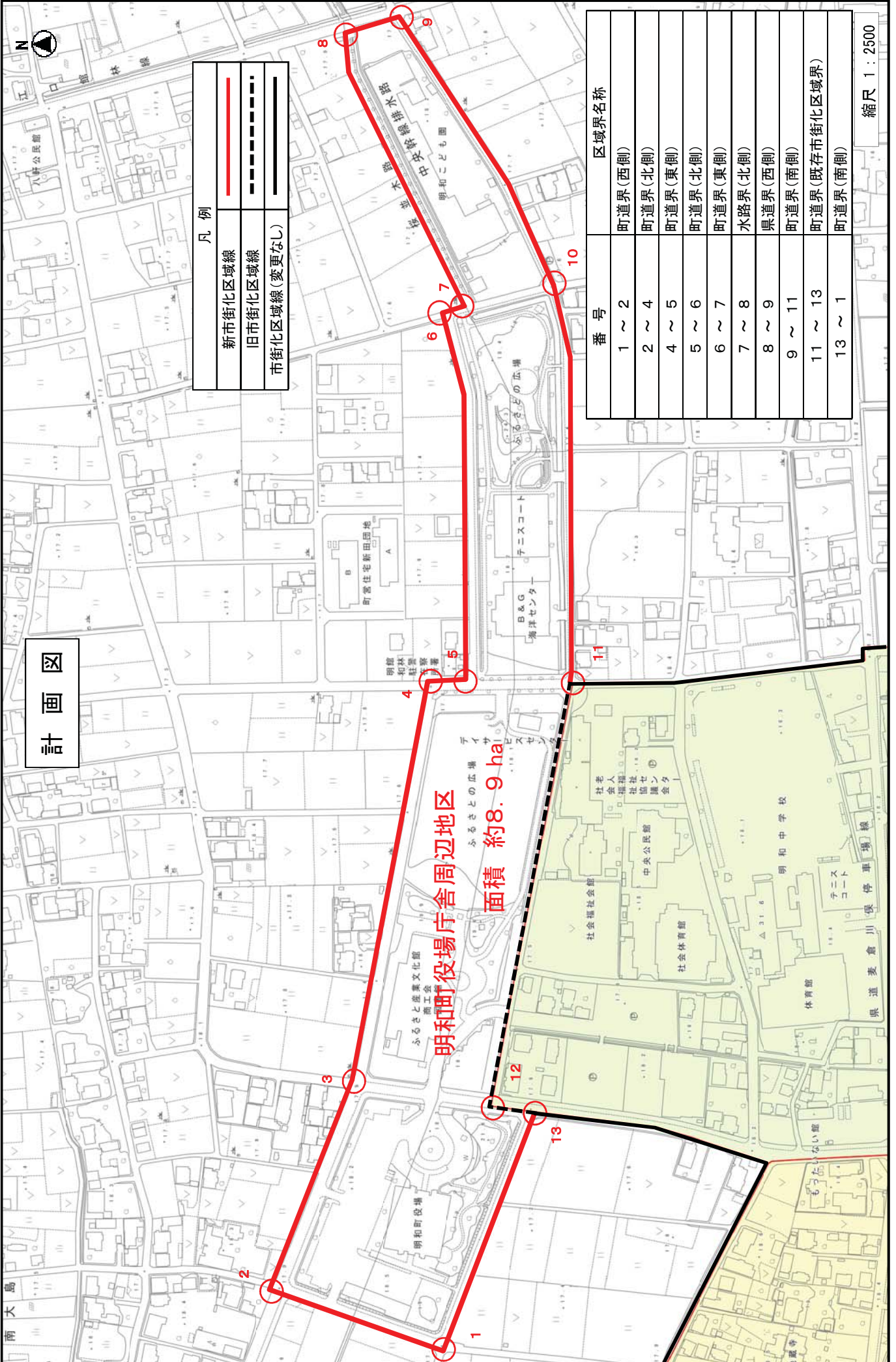
新市街化区域線	— (Red solid line)
旧市街化区域線	- - - (Black dashed line)
市街化区域線(変更なし)	— (Black solid line)

## 明和町役場倉周辺地区

面積 約8.9 ha

番号	区域界名称
1 ~ 2	町道界(西側)
2 ~ 4	町道界(北側)
4 ~ 5	町道界(東側)
5 ~ 6	町道界(北側)
6 ~ 7	町道界(東側)
7 ~ 8	水路界(北側)
8 ~ 9	県道界(西側)
9 ~ 11	町道界(南側)
11 ~ 13	町道界(既存市街化区域界)
13 ~ 1	町道界(南側)

縮尺 1 : 2500







計 画 図

明和東部工業団地地区  
面積約44.5 ha

凡 例

新市街化区域線	—
---------	---

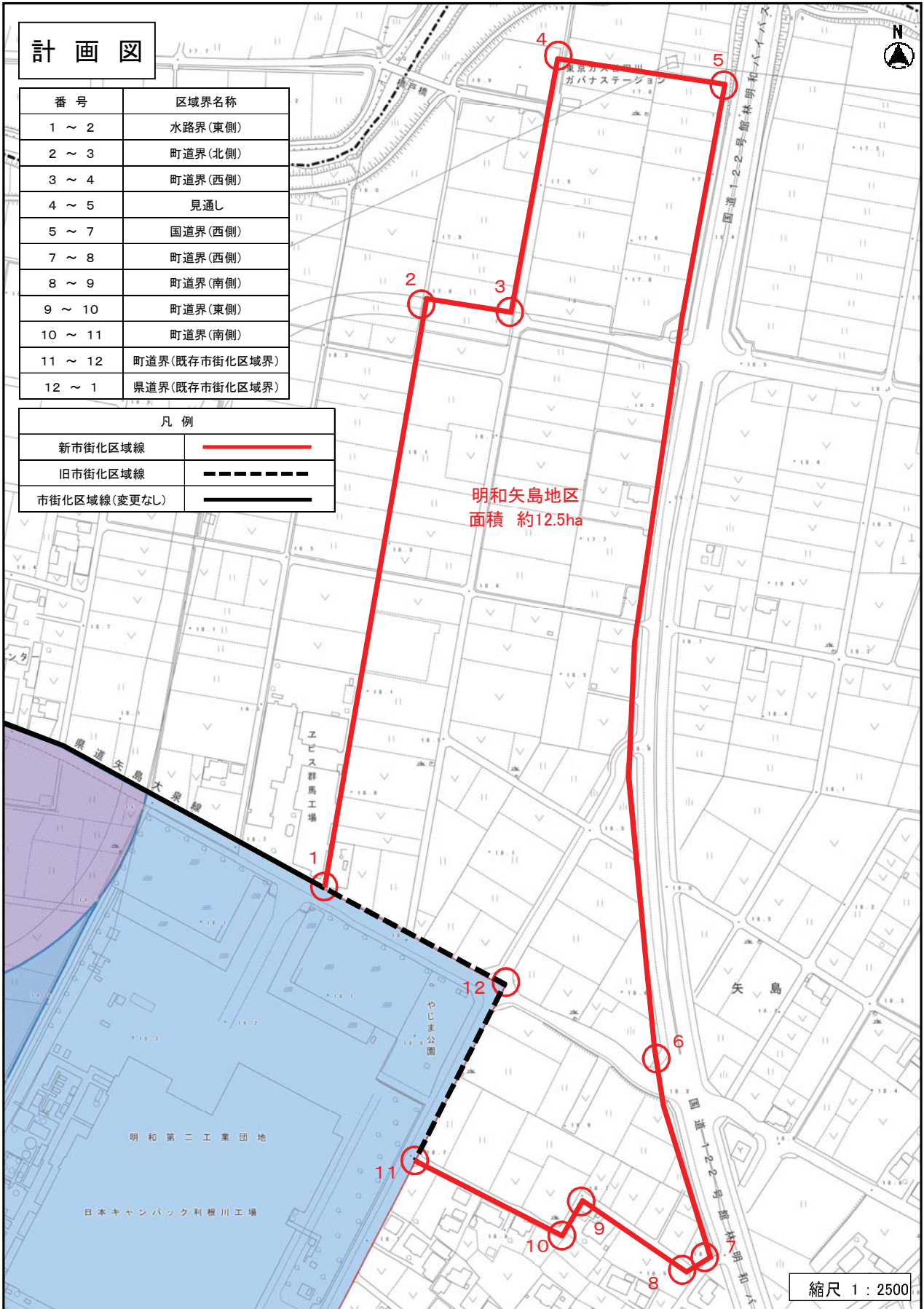
番 号	区域界名称
1 ~ 2	県道界(南側)
2 ~ 3	水路界(東側)
3 ~ 4	町道界(東側)
4 ~ 5	河川界
5 ~ 1	町道界(西側)

縮尺 1 : 3500

# 計画図

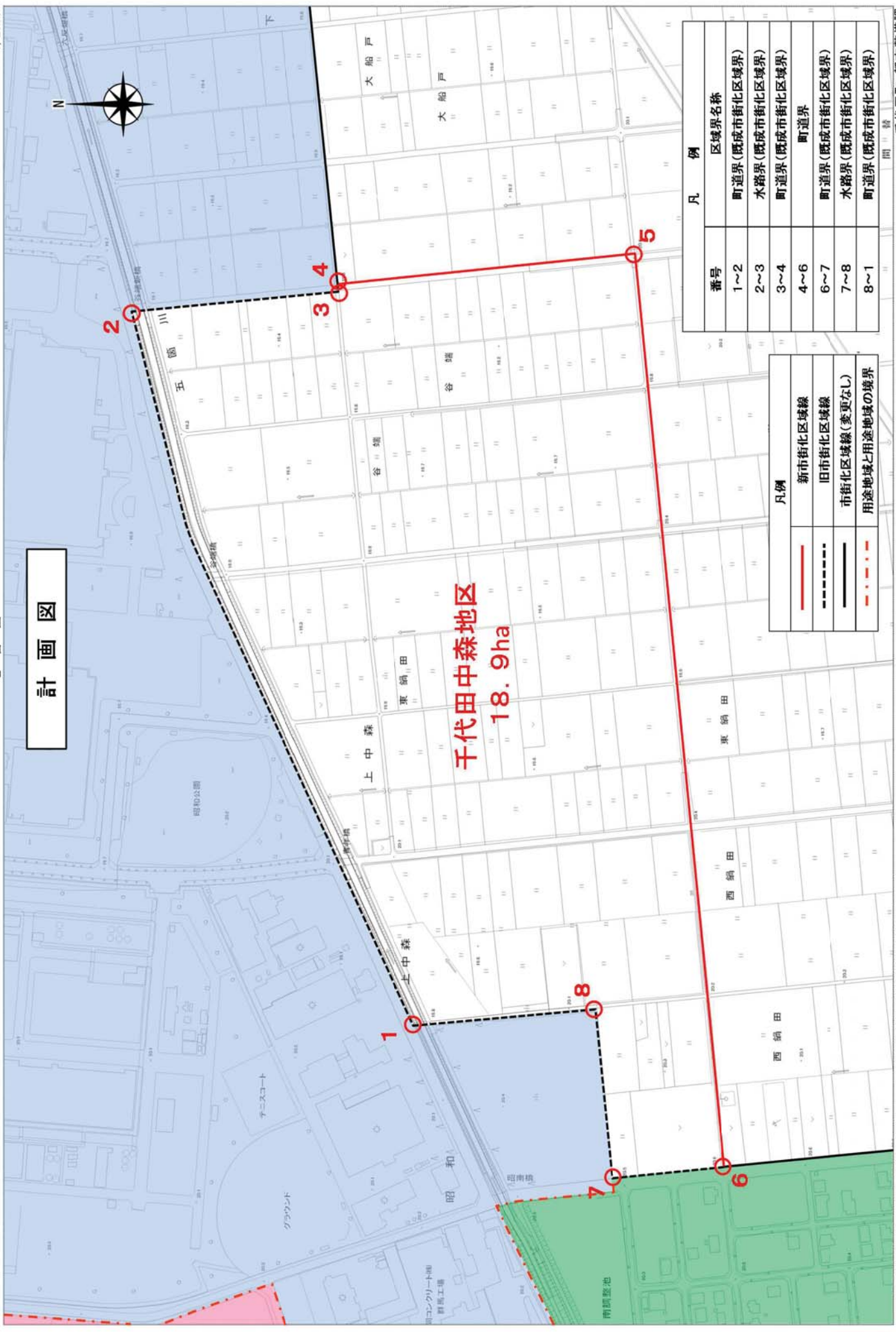
番号	区域界名称
1 ~ 2	水路界(東側)
2 ~ 3	町道界(北側)
3 ~ 4	町道界(西側)
4 ~ 5	見通し
5 ~ 7	国道界(西側)
7 ~ 8	町道界(西側)
8 ~ 9	町道界(南側)
9 ~ 10	町道界(東側)
10 ~ 11	町道界(南側)
11 ~ 12	町道界(既存市街化区域界)
12 ~ 1	県道界(既存市街化区域界)

凡例	
新市街化区域線	
旧市街化区域線	
市街化区域線(変更なし)	





# 計 画 図



凡 例

	新市街化区域線
	旧市街化区域線
	市街化区域線(変更なし)
	用途地域と用途地域の境界

凡 例

番号	区域界名称
1~2	町道界(既成市街化区域界)
2~3	水路界(既成市街化区域界)
3~4	町道界(既成市街化区域界)
4~6	町道界
6~7	町道界(既成市街化区域界)
7~8	水路界(既成市街化区域界)
8~1	町道界(既成市街化区域界)

この図面は公図などから編集したもので、権利などの法的根拠を有しません。



# 区域区分

計画図 S=1:2,500

番号	区域界名称
1~6	道路界
6~7	河川界
7~9	道路界
9~10	公園界
10~11	道路界
11~12	公園界
12~13	見通し
13~14	公園界
14~15	見通し
15~18	公園界
18~1	道路界

地区名	邑楽中央地区
面積	18.3ha

